

平成 22 年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

平成 23 年 12 月 8 日
地方競馬全国協会畜産振興部

地方競馬全国協会（以下「NAR」という。）では、NAR が行う畜産振興補助事業（以下「補助事業」という。）を効果的かつ効率的に実施するため、前年度に終了した補助事業を評価（以下「事業評価」という。）する仕組みを導入しています。

客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、NAR は、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会（以下「評価委員会」という。委員名簿は表参照）」を設置し、評価委員会の意見を聴いています。

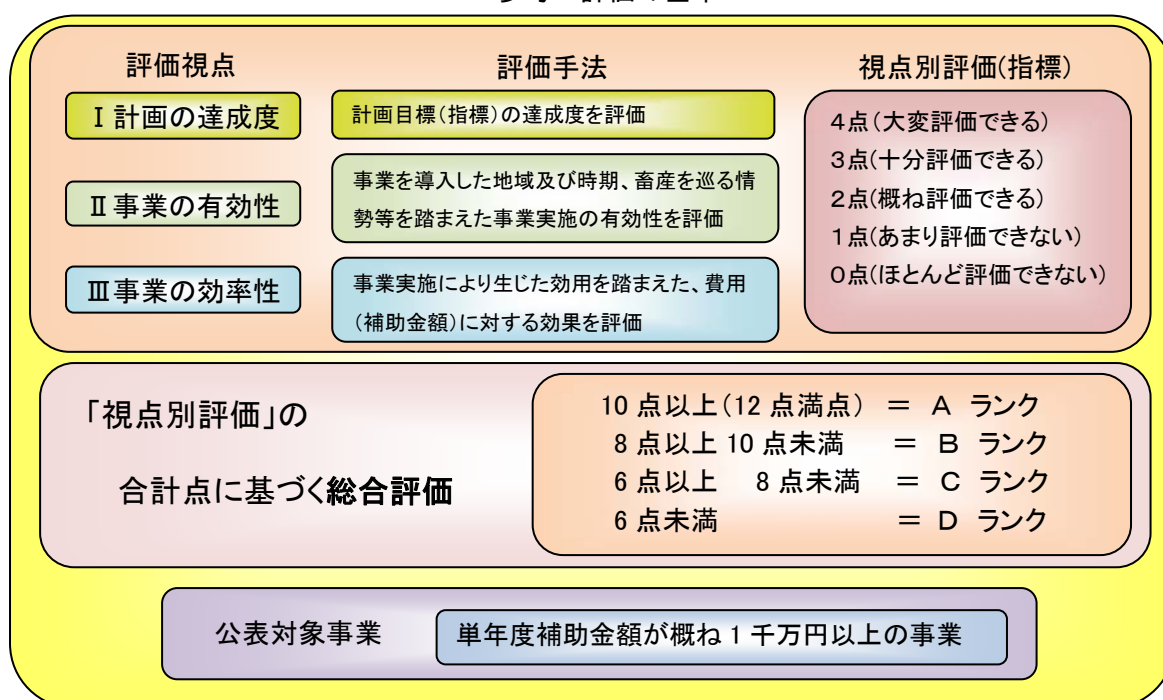
また、NAR は、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

平成 23 年度は、平成 22 年度に実施された補助事業（69 団体、94 事業件数、補助金 637,319 千円）を対象として事業評価を行い、今般、その結果がまとまりましたので公表します。

表. 畜産振興補助事業評価委員会委員名簿 （敬称略、五十音順）

委員氏名	所 属	役 職 名	備 考
小 澤 周 司	財団法人 全国競馬・畜産振興会	管 理 部 長	座長
荻 草 洋 雄	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部長	
酒 井 豊	独立行政法人 家畜改良センター	理 事	
本 好 茂 一	日本獣医生命科学大学	名 誉 教 授	
守 部 公 博	社団法人 家畜改良事業団	理 事	

参考. 評価の基準



【平成22年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名		I-(1) 登録推進		事業実施主体名	社団法人 日本馬事協会		
補助金等の名称		技術料、登録推進費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	血統登録および事務の円滑化	
		[地全協] (平成22年度)畜産振興事業補助実施要綱			実施方法	登録審査、実務者研究会等	
		[事業実施主体] (社)日本馬事協会種馬登録規程			受益対象者	生産者等	
	事業の内容		<p>農用馬の血統と個体識別を明確にし、繁殖成績を記録することによって馬の改良増殖を図るとともに、ばんえい競馬の公正確保等に寄与するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 種馬登録審査 …… 北海道及び青森、岩手、島根、熊本、大分、宮崎各県の軌系馬を主体に登録を実施した。</p> <p>ii 登録実務者研究会 …… 種馬登録審査を厳正に行うための実務者研究会並びに馬の毛色及び特徴記載方法の講義と実馬による検討会を開催した。22年度は14名を対象に実施した。(実施場所: 地方競馬教養センター)</p>				
補助金額(千円)	前年度(21実績)	評価年度(22実績)	今年度(23計画)	備考			
	40,358	44,585	47,780				
視点別評価					【評価項目】		
					I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
			D	視点別評価の合計点が6点未満			

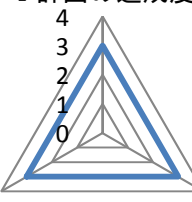
【平成22年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名		I-(3)農用種雌馬の改良増殖推進		事業実施主体名	幕別町農業協同組合 他9団体	
補助金等の名称		純粋種雌馬繁殖奨励費、農用種雌馬繁殖奨励費、純粋種雌馬導入費、農用種雌馬導入費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [地全協] (平成22年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 農用種雌馬の繁殖奨励金交付規程 農用種雌馬の貸付規程		事業の目的	趣旨	農用馬の改良及び生産振興
		実施方法	奨励金交付、導入費補助			
		受益対象者	農用馬の管理・飼養者、生産者			
事業の内容		<p>農用馬の改良及び生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 純粋種雌馬繁殖奨励 …… 当該年に(社)日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種の輓系農用種雌馬を外部から導入し、又は、自家生産し保留した飼養者に奨励金を交付した。(導入・自家保留馬1頭につき189千円以内)</p> <p>ii 農用種雌馬繁殖奨励 …… 当該年に(社)日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種以外の輓系農用種雌馬を外部から導入し、又は、自家生産し保留した飼養者に奨励金を交付した。(導入・自家保留馬1頭につき126千円以内)</p> <p>iii 純粋種雌馬導入費 …… 当該年に(社)日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種を導入し、飼養者に3年以上の貸付契約により、貸し付ける事業に導入費の一部を補助した。(導入馬1頭につき189千円以内)</p> <p>iv 農用種雌馬導入費 …… 当該年に(社)日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種以外を導入し、飼養者に3年以上の貸付契約により、貸し付ける事業導入費の一部を補助した。(導入馬1頭につき126千円以内)</p>				
補助金額(千円)	前年度(21実績)	評価年度(22実績)	今年度(23計画)	備考		
	5,110	6,827	7,664			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】	
					I 計画の達成度	
					II 事業の有効性	
					III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
		D	視点別評価の合計点が6点未満			

【平成22年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名		I-(4) 農用馬の繁殖奨励		事業実施主体名		上川生産農業協同組合連合会 他10団体	
補助金等の名称		種付奨励費、生産奨励費、優良種雄馬改良促進奨励費、優良種雌馬改良促進奨励費、優良種雌馬保留奨励費、推進事務費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [地全協] (平成22年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 優良種雄馬繁殖奨励金交付規程 子馬生産奨励金交付規程 優良種雄馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬保留奨励金交付規程		事業の目的	趣旨	農用馬の生産促進及び牽引能力の改良	
					実施方法	奨励金交付	
					受益対象者	農用馬の管理・飼養者、生産者	
事業の内容	農用馬の生産促進及び牽引能力の改良を図るため、次に掲げる事業を実施した。 ①優良種雄馬繁殖奨励 種付奨励 …………… 当該年に種付した純系種雄馬の飼養者に奨励金を交付した。 ○純粋種種雄馬1頭につき…62千円以内 ○純粋種以外種雄馬1頭につき…31千円以内 ②子馬生産奨励 生産奨励 …………… 当該年産で、(社)日本馬事協会が行う血統登録を受けた純系農用馬の生産者に奨励金を交付した。 ○純粋種 …… 子馬1頭につき35千円以内 ○純粋種以外 ・当該年の奨励金対象馬(純粋種を含む)が6頭以上の生産者…子馬1頭につき28千円以内 ・当該年の奨励金対象馬(純粋種を含む)が3頭以上5頭以下の生産者…子馬1頭につき24千円以内 ・当該年の奨励金対象馬(純粋種を含む)が1頭以上2頭以下の生産者…子馬1頭につき20千円以内 ③改良促進奨励 i 優良種雄馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の父馬飼養者に奨励金を交付した。(合格馬1頭につき25千円以内) ii 優良種雌馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の母馬飼養者に奨励金を交付した。(合格馬1頭につき100千円以内) iii 優良種雌馬保留奨励 …………… 当該年に帯広市が行う地方競馬において初出走をした競走馬の母馬であり、自身も地方競馬での出走履歴を持つ種雌馬飼養者に奨励金を交付した。(出走馬1頭につき100千円以内)						
	補助金額(千円)	前年度(21実績)	93,123	評価年度(22実績)	81,133	今年度(23計画)	82,185
視点別評価	I 計画の達成度 4 3 2 1 0 				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク		ランクの定義		
	合計点	9	A		視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
			B		視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C		視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
判定(ランク)	B	D		視点別評価の合計点が6点未満			

【平成22年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名		I-(5) その他 優良農用馬資源確保緊急特別対策		事業実施主体名	社団法人 日本馬事協会	
補助金等の名称		ばんえい競馬生産者賞費、事業推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [地全協] (平成22年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ・(社)日本馬事協会優良農用馬資源確保緊急対策事業助成実施要領 ・帯広市優良農用馬資源確保緊急特別対策事業実施要領		事業の目的	趣旨	農用馬の資源確保
	事業の内容	農用馬生産者の生産意欲を高めることにより、ばんえい競馬の競走馬の資源確保を図るため、次に掲げる事業を実施した。 i 生産者賞の交付 …… 帯広市番組編成要領で定める2歳馬競走121競走を対象として、各競走の優勝馬等(1着～3着)の生産者に対して生産者賞として生産奨励金を交付した。 ii 事業推進の事務 …… 対象競走の選定。生産者への生産奨励金交付に係る事務。生産者賞の広報宣伝。				
	補助金額(千円)	前年度(21実績)	評価年度(22実績)	今年度(23計画)	備考	
		9,511	14,453	14,500		
視点別評価	I 計画の達成度 				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

【平成22年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名	Ⅱ-(1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	社団法人 中央畜産会			
補助金等の名称	担い手育成・確保・増強推進費、畜産関連公益活動推進費、地域畜産活性化推進費						
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [地全協] (平成22年度) 畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ①第49回総括畜産コンサルタント資格試験実施細則 ②平成22年度新任者研修実施要領 ③平成22年度経営指導従事者専門研修実施要領 ④平成22年度畜産関係団体調整機能強化事業委託要領	事業の目的	趣旨	畜産経営の安定及び高度化		
		実施方法	地域畜産協会への経営技術指導 総括畜産コンサルタント試験の実施 地域畜産協会業務の円滑化の推進 畜産関係団体の調整機能の強化等	受益対象者	地域畜産協会、生産者、消費者		
事業の概要	道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。						
	<p>i 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化を図る事業 〈道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員:10名、書類審査、面接試験、受験者20名、合格者15名) ・畜産会業務円滑化推進業務の実施(福島県、長野県、鹿児島県) <p>ii 地域畜産に対する理解増進等関連公益活動体制の強化を図る事業 〈畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産会支援生産者組織整備事業(28府県) ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催13道県) ・支援生産者組織交流会開催事業(平成23年3月11日、19名、NOSAI長野会館) <p>iii 地域団体と連携協調体制の基盤強化を図る事業 〈畜産関係団体が実施する事業の円滑化、必要な知識等の強化を図ることを目的とする経営指導技術向上事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任基礎研修(研修者:15名、平成22年7月14日～16日、家畜改良センター) ・経営指導従事者研修(研修者21名、平成22年9月15日～17日、地方競馬教養センター) ・管理責任者・事務処理従事者研修(研修者:103名、平成23年1月17日～18日、全国家電会館) ・農林水産省中央畜産技術研修会(派遣者数:133名)(うち研修旅費一部補助者37名) 						
補助金額(千円)	前年度(21実績)	81,469	評価年度(22実績)	80,684	今年度(23計画)	77,700	備考
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
			D	視点別評価の合計点が6点未満			

【平成22年度畜産振興補助事業評価結果】

事業名		Ⅱ-(1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名		(社)北海道酪農畜産協会他全国45団体			
補助金等の名称		担い手育成・確保・増強推進費、畜産関連公益活動推進費、地域畜産活性化推進費、馬事・畜産普及啓発推進費							
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [地全協] (平成22年度)畜産振興事業補助実施要綱		事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化			
	事業の内容	<p>都道府県の支援を受けて、地域畜産経営の安定及び高度化を図る次に掲げる事業を実施した。 なお、当該補助事業については、平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫の防除対策に全国の畜産関係者が支援を行うとともに、全国的に防疫対策を強化するなか実施されたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> i 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化を図る事業 高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページで広く経営情報を提供し、畜産経営技術の高度化及び経営改善を図ること等を目的とした事業の実施。 ii 地域畜産に対する理解増進等関連公益活動体制の強化を図る事業 畜産物の生産現場や畜産の果たしている役割について消費者や児童生徒の理解を促し、都市と農村の交流を図るため教育機関・関係諸団体と連携し、食育及びふれあい体験活動並びに情報の提供を行うとともに、家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知を図ること等を目的とした事業の実施。 iii 地域畜産の活性化推進体制の強化を図る事業 地域畜産の実情に応じたブランド化事業等を推進し、地域畜産の生産基盤体制の強化及び活性化推進体制の強化を図ること等を目的とした事業の実施。 iv 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業 地方競馬の開催日等に合わせた畜産フェア等のイベントを実施し、地域における馬事・畜産の普及啓発、地域畜産物の消費拡大等を図ること等を目的とした事業の実施。 						実施方法	畜産農家に対する経営指導、地域畜産の普及啓発、馬事畜産振興等
	補助金額(千円)	前年度(21実績)	388,820	評価年度(22実績)	382,896	今年度(23計画)	361,596	備考	
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>					【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)			
総合評価	評価結果		ランク		ランクの定義				
	合計点	9	A		視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)				
	判定(ランク)	B	B		視点別評価の合計点が8点以上10点未満				
			C		視点別評価の合計点が6点以上8点未満				
			D		視点別評価の合計点が6点未満				